

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																									
宮城文化服装専門学校		平成29年1月19日		守末 紀生		〒 980-0021 (住所) 宮城県仙台市青葉区中央3丁目4-8 (電話) 022-227-1345																																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																									
学校法人守末学園		平成27年1月18日		守末 紀生		〒 980-0021 (住所) 宮城県仙台市青葉区中央3丁目4-8 (電話) 022-227-1345																																									
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																										
服飾・家政	専門課程	ファッションビジネス科		平成7年文部科学省 認定	—																																										
学科の目的																																															
縫製及びファッション産業の専門教育を授けると共に人格の陶冶を図り優れた人材を育成することを目的とする。																																															
認定年月日																																															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
2 年	昼間	2100	347	0	1754	0	0																																								
時間																																															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																										
40人	24人	0人	1人	10人	11人																																										
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 60点以上で単位の取得とする。 評価の方法: 出席状況、提出物の出来栄、試験の点数を総合的に評価。																																										
長期休み	■春 季: 3月20日～4月7日 ■夏 季: 7月24日～8月23日 ■冬 季: 12月24日～1月10日			卒業・進級 条件	卒業要件: (1) 履修すべき教科の出席時数が法定時数以上であること。(2) 履修すべき教科の評点が「60点」以上であること。(3) 原則として既定の製作作品の100%提出とする。ただし、上記を満たさない場合、該当教科の担当職員を含めた職員会議において、別作品提出・補講授業にて対応すること認める。(4) 学費等納入金を滞納していないこと。 進級要件: (1) 履修すべき教科の出席時数が法定時数以上であること。(2) 学費等納入金を滞納していないこと。																																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 (1) クラス担任制(2) 個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(3) 個別相談(4) 中途退学防止のための取り組み			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 特になし ■サークル活動: 無																																										
就職等の 状況※2	(1) クラス担任制(2) 個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等) ファッション業界(縫製・パタンナー・販売) ■就職指導内容 (1) 求人案内 (2) 個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導 ■卒業生数 4 人 ■就職希望者数 3 人 ■就職者数 2 人 ■就職率 66.7 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 50 % ■その他 ・進学者数: 1人 ・未就職者: 1人 (令和 3 年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>4名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>4名</td> <td>1名</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 第36回全国連鎖校協会ファッションデザイン画コンクール: 日本ファッション教育振興協会奨励賞			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ファッションビジネス能力検定2級	③	4名	2名	ファッション販売能力検定2級	③	4名	1名																												
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																												
ファッションビジネス能力検定2級	③	4名	2名																																												
ファッション販売能力検定2級	③	4名	1名																																												
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 令和3年4月1日時点において、在学者 1 8 名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 1 5 名 (令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 別分野への進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)			■中退率 17 %																																											
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																														
第三者による 学校評価	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載した ホームページURL																																														
当該学科の ホームページ URL	https://www.miyagibunka.ac.jp/csbusiness.html																																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

宮城文化服装専門学校は東京の文化服装学院の連鎖校として、長年に渡りファッション業界に多くの人材を輩出して来まし
た。時代と共に変化するファッション業界に遅れを取ることが無いよう企業と密に連携し、より即戦力となる人材を育成する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会の意見は教職員による検討会議で審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

なお、教育課程編成委員会は、学則に規定する教育課程に関する事項を審議する。

本委員会は校長が招集し、年2回の会議を開催することができる。

本委員会の議決事項は、学則改訂に反映される。学則変更についてはその後に理事会による承認を経て決定とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
守末 紀生	宮城文化服装専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
神長 学	宮城文化服装専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
増子 佳世	宮城文化服装専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
阿部 英昭	公益社団法人全日本洋裁技術協会	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
中澤 修平	株式会社ワールドストアパートナーズ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
佐藤 正和	株式会社福装21	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
加藤 千草	有限会社モックプランニング	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (前期・後期各1回)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年4月1日～4月30日(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アンケートにて実施)

第2回 令和4年11月30日 15:45～16:45

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

【意見】単発的な授業よりも、学科同士の関連性を持たせたカリキュラムがあれば良いと思う。

【対応】ビジネス科が企画し、デザイン科がデザインを、その後服装科が縫製といったグループワークを実施。

【意見】就職活動は早くから開始した方がよい。

【対応】例年よりも早い段階から就職指導を開始。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

時代と共に変化するファッション業界に遅れを取ることが無いよう企業と密に連携し、より即戦力となる人材を育成する。企業から直接指導を受ける事により、より実践に即した授業を実施する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業の店舗においての実習や企業の社員に行っている研修等を企業側スタッフによる指導の元に実施。

授業（座学・実習）においての理解度・出席・筆記試験等の評価を総合的に判断し成績として企業側にて評価。

①学校が授業計画を作成し、企業側に提示し、協議の後実施する。

②企業より、授業を支援するスタッフを派遣。

③教員と企業スタッフによる協議に基づき、評価を実施。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
マーチャンダイジング論Ⅰ	マーチャンダイジングや接客応対、ディスプレイなどアパレル企業に入って必要な技術・知識を基礎から応用まで、実習、実演、フィードバックし理解を深めていく。株式会社ワールドストアパートナーズの企業情報を元に、運営する店舗にて実習を行うことにより、企業と連携し現場に即した技術の習得を図る。	株式会社ワールドストアパートナー
マーチャンダイジング論Ⅱ	1年次に習得した知識・技術をもとに、さらに高度なマーチャンダイジングや接客応対、ディスプレイなどアパレル企業に入って必要な技術・知識を基礎から応用まで、実習、実演、フィードバックし理解を深めていく。株式会社ワールドストアパートナーズの企業情報を元に、運営する店舗にて実習を行うことにより、企業と連携し現場に即した技術の習得を図る。	株式会社ワールドストアパートナー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則第33条に基づき、学校法人守末学園は、学園に勤務する専任教職員(必要を認める場合兼任教職員を含む)に対して、資質(知識・技能・識見等)の向上を図り、以て学生の学力・技術力向上と良識の涵養に資することを目的として、加盟する団体等が開催する研修会に適宜派遣する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: アパレルCAD実習

連携企業等: 東レACS株式会社

期間: 令和3年7月1日、2日、8月26日、9月13日、10月21日、11月11日、12月24日、1月21日、3月17日

対象: 教員

内容: アパレルCADの操作の習得

研修名: プリーツ技術研修

連携企業等: 株式会社白石ポリテックス

期間: 令和3年4月20日

対象: 教員

内容: プリーツ工場の現場見学、プリーツ技術の指導、学生指導への反映

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 宮城県専修学校各種学校連合会・令和3年度中堅職員研修

連携企業等: (一社)宮城県専修学校各種学校連合会

期間: 令和3年12月9日

対象: 教員

内容: 発達障害について～事例を通しての理解と対応～

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ロゴマークデザインについて	連携企業等:	Royal college of art
期間:	令和4年4月21日	対象:	教員
内容	企業におけるロゴマークデザインについて		
研修名:	アパレルCAD実習	連携企業等:	東レACS株式会社
期間:	令和4年6月3日	対象:	教員
内容	アパレルCADの操作の習得		
研修名:	宮城県高等学校・専修学校各種学校協議会「高校生が実りある専修学校・各種学校進学を実現するために」	連携企業等:	株式会社福装21
期間:	令和4年8月17日	対象:	教員
内容	縫製工場におけるアパレルCADについて		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	宮城県高等学校・専修学校各種学校協議会「高校生が実りある専修学校・各種学校進学を実現するために」	連携企業等:	(一社)宮城県専修学校各種学校連合会
期間:	令和4年9月29日	対象:	教員・職員
内容	専門学校と高等学校進路担当教員の分野相互理解		
研修名:	学生指導について	連携企業等:	旧職員
期間:	令和4年11月	対象:	教員・職員
内容	旧職員の立場からの学生指導について、縫製技術について		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

職業実践専門課程の指定を受けることを通して、より良い学校運営を実施することを目指し学校評価に取り組む。学校自己評価を基に、学校関係者評価を学校関係者評価委員会に諮り、意見等を徴集し、教育の質の向上にこの評価の結果を反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動・学修成果
(4)学修成果	(3)教育活動・学修成果
(5)学生支援	(4)学生支援
(6)教育環境	(5)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(6)学生の受入れ募集
(8)財務	(7)法令等の遵守・財務
(9)法令等の遵守	(7)法令等の遵守・財務
(10)社会貢献・地域貢献	(8)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・産官学の連携こそ重要で、貴校のアプローチは横串を入れる画期的なものと思われます。→2022年度は企業・行政・学校で連携した事業を企画しています。
・実習などより実践の経験は良いと思いますので、今後も継続取り組みが出来ればと思います。→服装科による縫製工場への実習、ファッションビジネス科による古着屋でのコーディネート実習等、今後も実践的な実習を実施いたします。
・学生が作る作品を一般の人に見てもらえる環境を作ってもいいと思う。(商業施設などや空き区画など)→新型コロナの拡大によりここ数年ファッションショーを実施しておりませんが、状況を見て実施を検討します。また、衣装展示の機会を模索いたします。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
馬淵 佑子	馬淵株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
小野 義紀	オズファインクロス	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
URL: <https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html>
公表時期: 令和4年4月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿った形で、本校の教育活動においての情報を提供する。

・理事会・評議委員会資料

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、目的・学校概要
(2) 各学科等の教育	授業計画・学科紹介
(3) 教職員	学校概要(教職員に関する調)・授業計画
(4) キャリア教育・実践的職業教育	企業と連携した実習演習・実務経験のある教員等による授業科目一覧
(5) 様々な教育活動・教育環境	事業報告
(6) 学生の生活支援	学生支援制度
(7) 学生納付金・修学支援	学費諸経費・学生支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	・自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html>

公表時期: 令和4年4月1日

授業科目等の概要

(専門課程ファッションビジネス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			被服構成理論Ⅰ－B	衣服の造形における知識の理解	1年	120	4	△		○	○		○		
2	○			被服構成理論Ⅱ－B	衣服の造形における知識の理解	2年	30	1	△		○	○		○		
3	○			被服構成基礎Ⅰ－B	服飾造形技術の習得	1年	60	2			○	○		○		
4	○			被服構成基礎Ⅱ－B	服飾造形技術の習得	2年	150	5			○	○		○		
5	○			創作作品Ⅰ－B	デザイン～縫製まで自身で制作	1年	30	1			○	○		○		
6	○			創作作品Ⅱ	デザイン～縫製まで自身で制作	2年	120	4			○	○		○		
7	○			カジュアルウェアB	スカート・パンツ等の制作	1年	300	10			○	○		○		
8	○			立体裁断Ⅰ－B	パタンナーが使用する技術である立体裁断の技術を習得	1年	30	1			○	○		○		
9	○			修了作品	1年次に学んだ技術を駆使し、ワンピースを制作	1年	60	2			○	○		○		
10	○			スタイル画Ⅰ	人体プロポーションの正確な理解・デッサン	1年	75	5			○	○			○	
11	○			スタイル画Ⅱ	人体プロポーションの正確な理解・デッサン	2年	75	5			○	○			○	
12	○			色彩学Ⅰ	配色技法・色彩	1年	18	1	○		△	○			○	
13	○			色彩学Ⅱ	配色技法・色彩	2年	18	1	○		△	○			○	
14	○			アパレル繊維論Ⅰ	素材の種類と分類	1年	33	2	○			○			○	
15	○			アパレル繊維論Ⅱ	素材の種類と分類	2年	63	4	○			○			○	
16	○			西洋史Ⅰ	西洋服装史	1年	16	1	○			○			○	
17	○			西洋史Ⅱ	西洋服装史	2年	16	1	○			○			○	

18	○		ファッション概論	ファッションに関する全体像の理解	1年	15	1	○			○			○	
19	○		ファッションビジネス論Ⅰ	マーケティング・トレンド	2年	18	1	○			○			○	
20	○		ファッションビジネス論Ⅱ	マーケティング・トレンド	2年	15	1	○			○			○	
21	○		コーディネートⅠ	スタイリング	1年	33	2			○	○			○	
22	○		コーディネートⅡ	スタイリング	2年	15	1			○	○			○	
23	○		ヘアメイクⅠ	ヘアアレンジ・メイクアップ	1年	24	1			○	○			○	
24	○		ヘアメイクⅡ	ヘアアレンジ・メイクアップ	2年	20	1			○	○			○	
25	○		マーチャンダイジング論Ⅰ	商品企画・ディスプレイ・接客	1年	48	2	○		△	○	△		○	○
26	○		マーチャンダイジング論Ⅱ	商品企画・ディスプレイ・接客	2年	56	3	○		△	○	△		○	○
27	○		ビジュアルプレゼンテーションⅠ-A	市場調査・プレゼンテーション	1年	50	2			○	○	△		○	
28	○		ビジュアルプレゼンテーションⅡ-A	市場調査・プレゼンテーション	2年	30	2			○	○	△		○	
29	○		パソコンⅠ	パソコンの技術・操作習得	1年	30	1			○	○			○	
30	○		パソコンⅡ	パソコンの技術・操作習得	2年	15	1			○	○			○	
31	○		前期選択授業Ⅰ ※一つを選択	レザー	1年前期	30	1			○	○			○	
				パターンメイキング検定対策		30				○	○			○	
				手芸		30				○	○			○	
				手編み		30				○	○			○	
				写真		30				○	○	△		○	
32	○		後期選択授業Ⅰ ※一つを選択	レザー	1年後期	30	1			○	○			○	
				パターンメイキング検定対策		30				○	○			○	
				手芸		30				○	○			○	

				手編み	30			○	○			○	
				写真	30			○	○	△		○	
33	○		前期選択授業Ⅱ ※一つを選択	レザー	30	2 年前期	1		○	○		○	
				パターンメイキング検定対策	30				○	○		○	
				手芸	30				○	○			○
				手編み	30				○	○			○
				写真	30				○	○	△		○
34	○		後期選択授業Ⅱ ※一つを選択	レザー	30	2 年後期	1		○	○		○	
				パターンメイキング検定対策	30				○	○		○	
				手芸	30				○	○			○
				手編み	30				○	○			○
				写真	30				○	○	△		○
35	○		一般教養Ⅰ	マナー・就職	1年	15	1	○		△	○		○
36	○		一般教養Ⅱ	マナー・就職	2年	15	1	○		△	○		○
37	○		イベント企画Ⅰ	ファッションショー・校外研修	1年	15	1		○	○	△	○	
38	○		イベント企画Ⅱ	ファッションショー・校外研修	2年	30	1		○	○	△	○	
39	○		被服構成応用Ⅰ	レザー（革）・特殊素材の扱い	2年	90	3		○	○		○	
40	○		卒業作品Ⅰ－B	テーマに沿った服の制作・ポートフォリオの作成～プレゼンテーション	2年	232	6		○	○		○	
合計				23 科目			2100 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：履修すべき教科の評点が60点以上（単位取得）であること。		1学年の学期区分	2期
履修方法：全て必修。ただし前期・後期選択授業のみ科目概要の一つを選択（留意事項）		1学期の授業期間	15週

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。